

横田基地問題を考える会

ニュース NO.23

連絡先 電話&FAX 0428-22-6273
ホームページ アドレス
yokota-peace.sunnyday.jp

横田基地で

沖縄の特殊部隊

一五〇名が

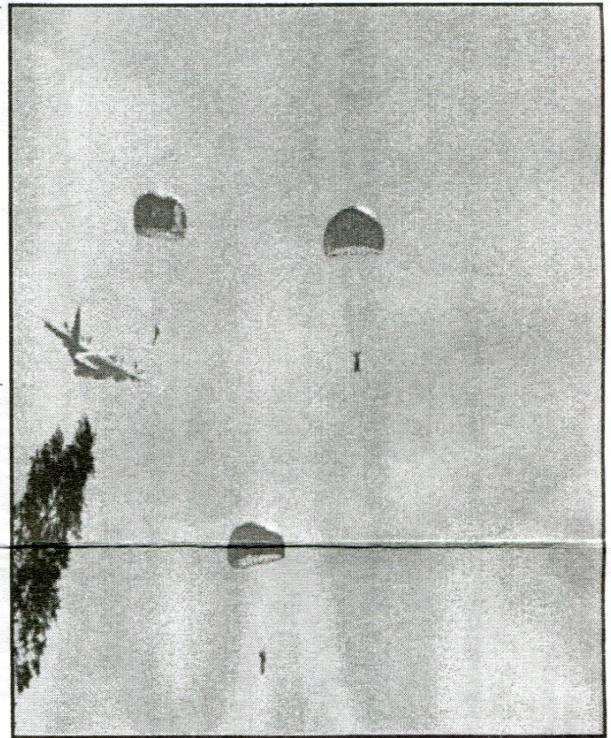
パラシュート降下訓練！

一月四日、瑞穂公園で抗議集会
地元・都内外から二〇〇名が参加

昨年12月北関東防衛局から、周辺自治体に1月5日～9日に横田基地所屬のC-130を使って、延べ150名が降下訓練を行うとの通告がありました。
「横田基地問題を考える会」や「横田基地の撤去を求める西多摩の会」などは、4日に瑞穂公園で抗議集会を行うことを決め取り組みました。

都内や近県から、200名が参加

撤去の会の高橋代表が、「パラシュート訓練は敵地



の後方に降下する危険な訓練であり、明らかな戦闘の訓練です。」と説明し、「横田基地周辺は、住宅や公共施設が密集していて沖縄の普天間基地以上という人もいる。首都圏での危険な訓練を中止させることや監視行動が必要」と呼びかけました。

参加した東京地評その他の労働組合や民主団体などが、阻止する決意を表明しました。



監視行動に37名が参加

5日からの監視行動には37名が参加しました。降下訓練は主に夜間に行われたようでしたが、砂袋や若干の兵隊の降下訓練が確認されました。

訓練したのは沖縄の特種部隊

後日この訓練を行ったのは、沖縄嘉手納基地の第31救難中隊の降下救難員「パラレスキュージャンパー」であったことが判明しました。

横田・基地被害をなくす会

なぐす会

大沢 豊

二多摩の住民は長年にわたって基地騒音に悩まされ、何回も裁判を起してきましてが、政府も裁判所も基地周辺の一部の住民にしか損害賠償を認めようとしません。基地の被害は騒音だけではなく、事故の危険や米兵の犯罪など数多くあり、軍事基地の存在そのものが許せないものであります。

第2次新横田基地 公害訴訟原告団

大野 芳一

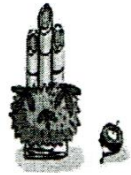
私たちの裁判は、横田基地の騒音軽減と賠償請求ですが、オスプレイの飛来、落下傘降下などの訓練は、騒音被害や落下物の危険を激化させるもので到底容認できません。

第9次横田公害訴訟原告団とも共同して、米軍横田司令官や国への抗議要請を行ってきました。また、幅広い運動をしるるために横田問題を考える会、横田の撤去を求め西多摩の会、横田もいらぬ市民交流集会実行委員会、横田の被害をなくす会とともに共同行動を取組むこととなります。

り、飛来・配備などの阻止に動いています。また、もつと地域を広げた運動体との共闘・連絡態勢の強化とともに、普天間、岩国、厚木の仲間とも連絡を密にし、情報の共有化、運動の進展を図っています。今年2月3日に予定の全国基地訴訟原告団の政府交渉にこの要求も加えて臨む予定です。

新年にあたり一言

抱負・決意



第9次横田基地 公害訴訟原告団

福本 道男

昨年7月のオスプレイ飛来予告以来、第2次新横田訴訟団、横田問題にかかわっているの団体の連絡会に加わ

横田基地の撤去を 求める西多摩の会

高橋 美枝子

横田基地撤去を求める座込みは、今年1月で70回を迎えました。オスプレイとパラシューター問題について、この

横田基地問題を 考える会

考える会

井出 由美子

座り込みを中心に情報を発信して、座込み参加者の周囲の人々に広げてもらうことを狙っています。また、周辺自治体と良く話し合い、横田基地機能強化の押しつけ反対の足並みを揃えていきたいです。

べ、今、横田は米軍基地の強化に加え、自衛隊横田基地が配備され、基地の共同使用、F35戦闘機のエンジン工場(瑞穂町)新設など、日本の軍事強化のありをもるに受け止める基地となっています。その間に、国会での集団的自衛権の強行、憲法の解釈改憲、オスプレイの導入など、あらゆる危険が急速に危険な様相を呈しています。

考える会の役割もますます重要になっていきます。今年も基地の異常さを多くの市民に伝え、立川駅頭の宣伝行動、自治体との懇談、住民アンケート調査など具体的な活動を提起していきます。

皆さん、沖縄県知事選で基地反対派が大勝利した沖縄の闘いに学び、再び日本を「戦争する国」にしないための決意のもと、今年も頑張ります。



横田が米軍のパラシュート訓練の拠点基地になっている！

パラシュート降下訓練

物資の投下訓練とは

敵の背後に、飛行中の輸送機から兵員を落下傘降下させ、はさみうちにするための訓練です。基地を戦場に

想定した戦争のための訓練です。兵士の降下だけでなく、パラシュートを使った大きな荷物などの投下訓練も行われています。これが基地外に落下する危険があります。沖縄ではこの間、

重大事故がたくさんありました。沖縄でのパラシュート

降下訓練の推移

沖縄の読谷補助飛行場では、1979年から1996年までの18年間で186回訓練が行われ、降下人員は延べ6878名でした。その後訓練の場所は伊江島補助飛行場に移されましたが訓練回数や降下人員の正確な記録はなく、米軍が勝手に好きなだけ訓練しています。嘉手納飛行場では14年間で実施回数は6回、降下人員は延べ307名ですが、地元自治体の猛烈な反対もあり、現在訓練は行われていません。

横田基地では2012年から3年間で約1500名が

パラシュート降下訓練を

2012年1月10日に突然、アラスカの米陸軍100名がパラシュート降下訓練を行いました。この年横田で降下訓練した兵士は延べ600人を超えています。2013年にはパラシュー

ト訓練は、兵士の降下、荷物の投下などさまざまに行われ、夜間の訓練も増えました。2012年から3年間の合計は延べ約1500名に達します。そして今年は新年早々から延べ150名規模と通告された降下訓練が行われました。米軍のパラシュート降下訓練、物資の投下訓練は、沖縄の基地から、広くて使い勝手がいい横田基地に移ってきているのが実態です。

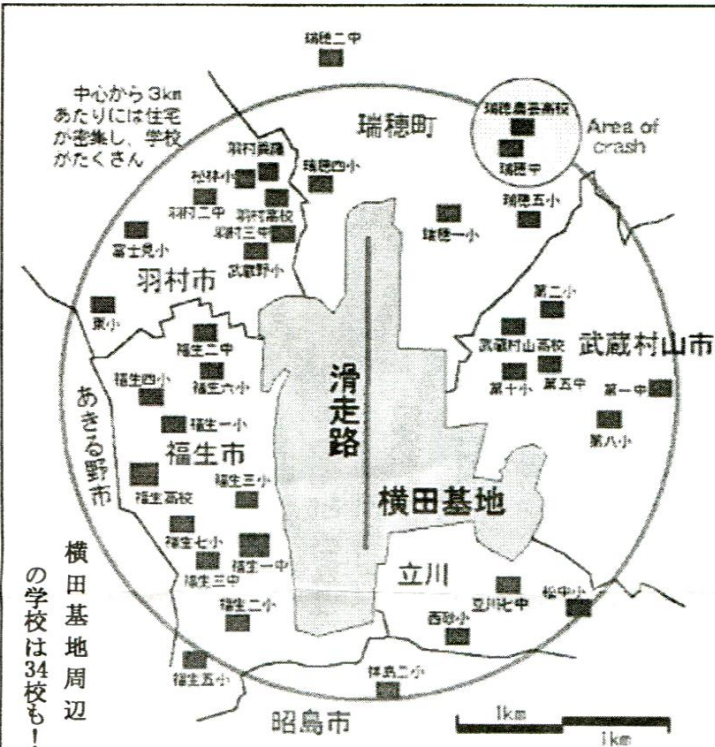
「オスプレイ来るな」とともに、「パラシュー

ト訓練反対」の広範

なたたかしの構築を

沖縄の伊江島ではオスプレイによるパラシュート訓練が行われています。昨年夏以来横田基地にもオスプレイが飛来するようになり、今年の夏には空軍のCV22オスプレイが横田に配備されるともいわれています。そうなれば横田基地でも、オ

スプレイを使用したパラシュート訓練が行われる危険がないとはいきれません。いずれにしても横田基地でのパラシュート訓練の実態と危険についてはあまり知られていません。周辺自治体とも力をあわせ、「パラシュート訓練やめる」の大きな運動の展開が求められています。



横田基地周辺の学校は34校も！



C130米軍航空輸送機 横田基地にて

米軍と政府に申し入れ書を提出

オスプレイは日米合意に違反して飛来！

「横田基地問題を考える会」「横田基地の撤去を求める西多摩の会」「第2次新横田基地公害訴訟原告団」「第九次横田基地公害訴訟原告団」「市民交流集会実行委員会」「横田基地被害をなくす会」の6者は合同で、米軍と政府に申し入れ書を提出しました。
主には、オスプレイの飛来と訓練を中止すること、CV22オスプレイの配備をしないこと、騒音被害を減らすこと、などを要請しました。

× × × × × × × × × ×

政府は「沖繩の負担軽減」を口実にオスプレイの飛来・訓練を日本全国に広げようとしています。しかし、これで沖繩の負担が軽減されるわけではありません。
(例えば伊江島はオスプレイとF35の訓練強化のために、基地の大幅な増強が

進んでいます)

横田基地は昨年7月10月オスプレイが飛来しました。が「進入および出発経路は、できる限り学校や病院を含む人口密集地上空を避けて設定すること」「通常、米軍の施設・区域内においてのみ垂直離着陸モードで飛行する」という日米合意を遵守していません。
特に着陸の際は基地の2kmも先から飛行モードを交換して行きました。
また、事前通告についても着陸の2時間前という、無通告に近い状態もありました。

東京都と周辺市町連絡協議会が政府に要望書を提出

昨年11月に横田基地に関する要望書を提出しました。これは基地の整理・縮小・返還や日米地位協定見直しを含む総合的なものです。主なものは、
○基地の整理・縮小・返還を含めた必要な措置を講ずること。

○米空母艦載機の連続離着陸訓練を実施しないこと。
○地元自治体へ適切に情報を提供すること。
○日米地位協定を適切に見直すこと。

オスプレイの飛来・配備については、周辺市町が独自に要請

「オスプレイは現段階では周辺住民の安全性への懸念が払拭されない状況にあり…十分な説明責任を果たすことなく、配備や飛来を行うことがないよう、米国内に働きかけること」を要請しています。

東京都・昭島市・立川市と懇談

東京都基地対策課(2名が対応)には昨年11月の6者の代表5名が要請しました。

昭島市・基地対策課(3名が対応)には昨年12月に考える会の5名で懇談しました。立川市・企画政策課(2名が対応)には本年1月に考える会の6名で懇談しました。いずれも、私た



ちが米軍と政府に出した「申し入れ書」を説明しました。

立川市との懇談では、我々が行った監視行動では、1月5日から9日までのパラシュート降下訓練は昼間多くは確認できなかったが、夜間に多く降下したのでは

ないか?と情報提供しました。また昨年11月以降オスプレイの飛来がないこと、CV22オスプレイの横田基地配備については、市側には全く情報がないこと、横田基地の飛行機よりも立川基地のヘリコプター騒音の方が市民からの苦情が多いことなど立川市から話しがありました。そして今後



<お知らせ>

5月23日(日) 渡辺 治さんの講演会を開催します。

(詳細は追ってお知らせします)

渡辺さんは、昨年10月共著発刊の「<大国>への執念—安倍政権と日本の危機」で、「安倍政権とは何か」を詳細に説明されています。

どんなお話しが聞けるのか大変楽しみです。

ぜひご参加を!!

今から日程に入れておいてください。